

## 令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	坂本養川堰マップ制作活用事業
事業主体 (連絡先)	坂本養川堰研究会 諏訪市中洲 2847-1 諏訪市中洲公民館
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	835,800円 (うち支援金: 626,000円)

### 事業内容

坂本養川は、小学校社会科の教科書で取り上げられるほどの人物でありながら、その偉業(養川堰)の全体像を示す広域的なマップ・解説がなかったことから、「坂本養川堰マップ」を制作し、これを活用することによって、小学生から高齢者まで、坂本養川の偉業と管理してきた地域の人々の営みを伝え、養川堰の維持保存の意識を高めたいと考えた。

- ・坂本養川堰マップの制作 6月～10月
- ・坂本養川堰マップを活用した授業や講座 10月～1月(11回)
- ・坂本養川堰の解説員育成の研修会 7月～1月(4回・延べ14人参加)

### 事業効果

- ①支援金を活用して「坂本養川堰マップ」を制作でき、これを使って小学校の授業や公民館の講座ができた。
- ②「養川堰」に対する地域の方々の関心を喚起する事ができ、各公民館等への問合せが増えた。
- ③坂本養川堰の解説員派遣を希望する学校が増えた。また、「坂本養川堰マップ」を活用することによって、児童にとって身近でわかりやすい授業ができるようになった。
- ④コロナ禍にもかかわらず、定員に達する公民館講座が多かった。
- ⑤解説員育成の研修会を行い、令和4年度より4名体制で解説員の派遣を行える見込みとなった。

### 今後の取り組み

- ①公民館の講座では、ぜひ現地を巡って「養川堰」を学びたいという要望が多く聞かれたので、「現地見学講座」を開講したいと考えている。
- ②解説員が4人になる見込みであることから、学校や公民館等の授業や講座への解説員派遣の回数を増やしていきたい。
- ③児童や地域の方々からの質問に、より明解に答えられるように、解説員の調査や研修の機会を増やしていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



### 【完成発表会】

### 【目標・ねらい】

- ①坂本養川堰マップの制作
- ②坂本養川堰マップの活用
- ③坂本養川堰の解説員の育成

### ※自己評価【 A 】

#### 【理由】

- ・小学校4年社会科の教材として活用された。
- ・坂本養川(堰)の理解が進んだ。
- ・解説員の育成が進み、解説員が4名となる見込みとなった。